



# サイジャーナル

月刊  
27-5・6  
第421号

日本サイ科学会 平成 27 年 5 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	<b>中 部</b> 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	<b>北 陸</b> 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	<b>関 西</b> 〒659-0011 芦屋市六菟荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	<b>九 州</b> 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	---	--	---	---

## 五日本部例会のお知らせ

※今月は芸術家とジャーナリストという2名のユニークな講演者の組み合わせとなります。素晴らしい作品(点描画)も展示致しますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして是非ご参加願います。

### 第1部

君を見放したりはしないー宇宙神技点描画家ー水華の世界(ヒカルランド)

講師 水華氏  
(神技点描画家)

沖縄出身の水華氏は、ダイバーショップ経営に成功、名実とも事業家として活躍していました。しかし、若くして巨万の富を得て、天狗生活を送った結果、ことごとく事業の多角化に失敗、天国から地獄に突き落とされてしまったのです。

ある日、自死を思いたった時、突然、神秘体験が起きました。「点描を描けー」という、巨大なバイブレーションを受けたのです。そ

## 六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されておりますので、必ず6月2日までにご投函願います(忘れないうちにお早めにお願致します)。

こで止む無く点描を描くことになりました。また、2年間で6000本という神界からのメッセージも告げられました。

この点描画はすでに90作以上上り、1000号7000万円以上という破格の値段が付けられました。全国の個展会場では、連日、奇跡的なシーンが起っています。いったい、水華氏が告げられたメッセージとは何なのでしょうか？

この衝撃の点描画とそのメッセージを明らかにしてまいります。

### ●水華氏のプロフィール

1960年沖縄生まれ。2012

## 今月号の記事

- ◎五日本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎将来の事務局長を募集します
- ◎六日本部例会のお知らせ
- ◎全国大会発表者大募集
- ◎関西サイ科学会五月六月七月研究集会のお知らせ
- ◎北陸サイ科学会五月例会予告
- ◎九州サイ科学会六月例会予告
- ◎第25回宇宙生命研究分科会予告
- ◎第24回宇宙生命研究分科会報告
- ◎平成26年1月本部例会報告
- ◎平成26年4月本部例会報告I
- ◎第三九三回関西サイ科学会報告
- ◎第三九四回関西サイ科学会報告
- ◎御嶽山の火山爆発の予知の検証と天変地異の予知
- ◎計報
- ◎オーブ(たまゆら)と霧(水滴)の関係

年6月より突然点描画を描き、2014年6月までには80点の作品を発表している。2014年2月サロン・ブラン会員、2014年4月上野 日仏現代国際美術展示品/会員優待受賞、同時にサロン・ブラン委員に推薦。2012年11月仙台「現代スピリチュアル

アート展」、2013年銀座グレイス「SUIKA点描画展、2013年7月赤坂ホテルニューオータニ「アールグラージュとコラボ」、2014年1月表参道四季画廊「SUIKA点描画展」など開催。

第2部

巨大地震を1週間前につかめ (ビオマガジン)

講師 上部 一馬氏

「地震は予知できない」。これは世界の定説です。しかし、巨大地震の発生を一、二週間前に予測できる「GPS地殻変動解析システム」を開発した民間人が登場しました。これは世界の快挙です。20年間にわたり日本の地殻変動を調べた結果、巨大地震発生の前には前震があることを掴みました。この20年間のデータベースと1週間毎の地殻変動値から巨大地震の予測を可能にしました。M5以上の的中率は8割を超え、3・11も事前に予測していました！ 富士山噴火、首都圏直下型地震がいつ起こるのか、日本列島はどうなっているのか？ このシステムの実

績と、危ないエリアを公表致します。

●上部一馬氏のプロフィール

1954年 岩手県陸前高田市生まれ。1977年明治学院大学卒業。学習研究社代理店勤務の後、1992年(株)健康産業流通新聞社に入社。2000年からフリーに。2003年、健康情報新聞編集長兼任。代替療法に精通。主な著書…「美肌革命」(ぶんぶん書房)、「難病を癒すミネラル療法」(中央アート出版社)、「やっぱり、やっぱりガンは治る」(コスモ21)、「ガン治療に夜明けを告げる」(花伝社)、「奇跡の生還」(コスモ21)、「世界文明の起源は日本だった」(ヒカルランド)他多数。

日時 平成27年5月9日(土) 午後1時30分～4時30分  
会場 北とびあ7階701会議室  
交通 JR京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費

一般 三〇〇〇円  
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と一般の御寄付御礼 (4/8受領分まで)

金六万円也	木村 陽一 様
金五万円也	渡邊 薫龍 様
金二万一千円也	浪平 博人 様
金二万円也	鴨川 裕司 様
金一万一千円也	屋敷 益男 様
金一万一千円也	原口 和恵 様
金五千円也	宮前 昭子 様
金一千円也	久保田昌治 様
金一千円也	窪田啓次郎 様
金一千円也	占部 浩一 様
金一千円也	飛田 洋子 様
金一千円也	青木 保夫 様
金一千円也	濱田 敏博 様
金一千円也	枝元 孝行 様
金一千円也	友寄 光子 様
金一千円也	片山 政記 様
金一千円也	山田 真理 様
金一千円也	奥村 八郎 様
金一千円也	石井 一雄 様

◎将来の事務局長を募集します

現在の事務局(小林)は200

1年6月から、日本サイ科学会の公式サイト管理以外のほぼすべての事務仕事(機関誌・論文集等の編集と発行、本部例会・全国大会等の準備と運営、理事会・通常総会の準備と運営、会員管理など)を担当してきましたが、年齢的にすべてをこなすには、体力的にきつくなつて参りました。

そこで、従来の事務局の仕事を編集部(刊行物の編集と発行)と新しい事務局(催し物の準備と運営、会員管理)の2つに分割することになりました。

そして、新しい事務局の担当者として、新しい事務局長の担当者を並列記憶能力が高い20代～40代の会員か、会員のお知り合いから募集することになりました。

最初は幹事として役員会等にも出席し、数ヶ月で引き継ぎを受けて、問題なければ正式に給与の出る事務局長になっていただく予定です。資格は首都圏在住の20代～40代の「WORD・EXCEL」等のコンピュータ使いで、機械音痴ではなく、多少の几帳面さと責任感が持てる方です。会員とのやりとりはメールが主体で、通常のルーティーンのお仕事に就いている方でも、兼職は可能です。詳細に

つきましては、事務局にメール願います。  
E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

募集期間中に複数の応募がありました場合は、応募者各人の適性をみて、最終的に決めさせていただきます。

### 六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会后、講演会があります。

### 六月本部例会のお知らせ

先端アンチエイジング医療 & 超人を生む自律神経の開発

講師 末武 信宏氏

アンチエイジング医療の進歩は近年目覚しく、内側と外側からアンチエイジング医療を受けることが可能となりました。

レーザー、高周波、超音波など新しい技術革新のみならず再生医

療分野でも注目を集めています治療を紹介します。

また、最近では、人間のソフトウェアである自律神経機能トレーニングによりトップアスリートのパフォーマンス向上にも役立っています。

人間の能力開発から超人を生む自律神経の最先端研究の紹介と人間の未知なる可能性や個人特性などアカデミックな超・能力へのアプローチを最新の研究と共に紹介します。

※名古屋市でアンチエイジングの診療を続けながら、スピリチュアルな研究でも活躍しておられるお医者さんの貴重な御講演ですので、会員の皆様はご友人、知人をお誘いして是非ご参加ください。

### ●末武信宏氏のプロフィール

国立岐阜大学医学部卒業、順天堂大学医学部大学院博士課程卒業(医学博士)、順天堂大学医学部非常勤講師、プロボクシングトレーナー(JBC認定)、社団法人 先端医学スポーツアカデミー 副代表理事、日本美容外科学会認定専門医 さかえクリニック院長

<http://www.sakae-clinic.com/>

トップアスリート株式会社 代表取締役

<http://www.topathlete.co.jp/>

アンチエイジング診療(Fレーシングドライバー、プロボクシング世界王者、プロ野球選手、サッカー日本代表、ツアープロゴルファー、オリンピック日本代表選手など)。多くのトップアスリートのトレーニング指導を行い超人育成に努める傍らスピリチュアルボランティア活動に努める。ヒーリング、前世療法、魂の実証への科学的アプローチを生涯研究。

<http://www.sakae-clinic.com/spiritual/>

日時 平成27年6月7日(日)

午後1時半～2時 通常総会

午後2時～4時半 講演

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

### 平成27年日本サイ科学会 第25回全国大会発表募集

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月11日(日)に北とびあ第2研修室にて、開催されます。会員の研究発表+シンポジウム(テーマは「あの世と多次元世界」が予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

会員の研究発表では、テーマは「あの世と多次元世界」に関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・説明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます、通りましたら8月31日までに

原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。「サイ科学 2014」の編集後記をよく読んで、応募願います。

◆ ◆

関西日本サイ科学会  
五月例会のお知らせ

チャクラに響くコトタマ  
パワー体感セミナー

講師 宮崎 貞行氏

日時 平成27年5月16日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

関西日本サイ科学会  
六月研究集会のお知らせ

意識による鉱石の成長・  
サイをめぐるよもやま話

講師 小牧 昭一郎氏

日時 平成27年6月20日(土)

午後3時～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

関西日本サイ科学会  
七月研究集会のお知らせ

永遠の生命(仮題)

講師 梶原 和義氏

日時 平成27年7月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

北陸日本サイ科学会  
五月定例会のお知らせ

外惑星(天王星、海王星、冥王星)が与える個人の運勢の大きな波と世界の動向

講師 瀬尾 泰範氏  
(占星学研究者)

外惑星(天王星、海王星、冥王星)は1つの星座を通過する期間が長いので、世の中のトレンドに影響を与え、個人に対しても人生の大きな運勢の波に影響を与え、記憶に残るエポックメイキングにも関係します。

東日本大震災の日に、世の中をひっくり返す天王星が占星学の基準点である春分点を通過し、牡羊座に入り、それから世界的に争いや戦いの多い時代が始まりましたが、2018年～2019年に天王星は牡牛座に入ります。それによりどういふふうに変化が起きていくかを、その後の星座時代も含めて予測します。

さらに海王星、冥王星の今後の世の中に与える大きな波も解説致します。

また個人に対する天王星、海王星、冥王星の影響による、大きな運勢の波のお話をし、参加者の皆様には、外惑星による今後数年間の個人別運勢の波が診断できる資料を配布して、その見方の説明を致します。

日時 平成27年5月24日(日)  
午後1時半～4時半  
会場 ホリスティック健康科学  
研究所 研修室

(石川県金沢市高岡町12・45)  
ロイヤルシャトー南町1F  
会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎  
お問合せ・お申込み  
076・234・6634

九州日本サイ科学会  
六月研究集会のお知らせ

心の調和についてⅢ

講師 森安政仁氏

日時 平成27年6月14日(日)  
午後1時～4時

会場 森安商店  
長崎県西彼杵郡長与町本川内郷16・6  
問合せ095・883・6048  
交通 JR長与駅下車徒歩20分  
長崎バス 洗切小学校前  
下車徒歩2分  
会費 無料

※人生相談も伺います  
※会員以外の方の参加も大歓迎

第25回宇宙生命研究分科会

第9回 UFO・オーブシン  
ポジウム

宇宙人類の自覚…第2コペル  
ニクス革命(2)

昨年「第2コペルニクス革命  
…地球人ひとりぼっち説からウチ  
ユウジンてんこ盛り説へ」に引き  
続き、第2弾として、「宇宙人類の  
自覚」がテーマ!

アカデミズムでも宇宙人類学が  
提唱される中、本シンポジウムで  
は宇宙人との交流を前提に、さら  
に一步進んでゆきましようか?

「われ思う、ゆえに宇宙人あり」  
Cogito Ergo Eureka

日時 平成27年7月26日(日)  
10時～17時45分  
会場 品川健康センター会議室  
品川区北品川3・11・22

03・5782・8507  
交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分  
JR京浜東北線大井町駅東  
口から東急バス「渋谷駅」  
行で「新馬場駅前」下車

会費 会員 五〇〇円(日本サイ科  
学会・サトルエネルギー  
学会・太陽の会会員)

一般 一〇〇〇円  
(世話人 阿久津 淳)

☆ ☆

第24回(第7回ヒポクラテス  
シンポジウム)報告

2015年3月29日(日)に品  
川健康センターにて終日開催。

今回は第1回ヒポクラテス賞を  
設け、参加者の投票により受賞者  
は佐藤楨花さんに決定。トロフィ  
ーが授与されました。

会場は満員御礼で、懇親会も20  
名参加。「生命の躍動」をテーマに、  
大いに盛り上がりました。参加者  
及びスタッフの皆さん、ご協力あ  
りがとうございました。

(世話人 阿久津 淳)

平成26年1月本部例会報告

魂の発見

講師 小川 博章氏

本日の私の目標は、「心を解明し  
魂を発見して、絶対安心に至る」  
ということでした。

原初の生物であるゾウリムシは  
目で見ることのできる最も小さな  
生物ですが、ゾウリムシのいる環  
境に弱い電流を流す実験をしてみ  
ます。何事もないときに、ゾウリ  
ムシはお互いに適当な距離をとっ  
て散らばり、平和な生活をしてい  
ます。ところがその環境に弱い電  
流を流すと、ゾウリムシは常にマ  
イナス極に向かいます。次にゾウ  
リムシが普通に暮らしている環境  
に、酸をたらず実験をしてみます。  
弱い酸をたらずとゾウリムシは皆  
寄ってきます。ところがこの環境  
に強い酸をたらずと、ゾウリムシ  
は皆一斉に逃げ、遠ざかります。  
この実験が語っていることは、  
原初の生物であるゾウリムシも、  
論理に従って行動しているという

ことです。そこでその眼を転じて世界を見れば、渡り鳥が一团となって海を越えていくように、あらゆる生物が論理に従って行動しているのだと分かります。そうでなければどうして生物は過酷な環境の中で生きていけるのでしょうか？命は論理に従って行動する仕組みだといえます。命によって生きている私たちもまた、論理に従って生きるのが当たり前で生きているということなのです。だからこそ私たちは論理的でない説明に出会うとも当然なことなのです。

そこで人類は論理的な知識を共有し、皆で積み重ねるために発明したのが、「科学」という方法だったということが分かります。私たちは科学を発達させる中で、よりいっそう理性を磨き、理性を唯一の自分のよりどころとしてきました。ところが、生きているうちに私たちは、現代の科学が現実を必ずしも正確に記述できていないことに気がつきます。科学は今のところ、現実を追いついていないといえます。つまり理性に従っても先に進めない多くの問題の存在に気付き始めています。

それにも関わらず、私たちは論理的でないものを排除しようとする余り、科学的になっていないもの信じません。科学は、ニュートンが万有引力の法則を発見して以来、始まったとされていますが、ニュートンが万有引力の法則を発見する前にも、リンゴは木から落ちていました。当然のことですが、あらゆる結果は原因があって、生まれます。

そしてあらゆる原因は原因が生まれる仕組みがあって、生じます。ですから、今のところまだ科学が仕組みを説明できないといっても、仕組みがなくなるわけではありませぬ。そこで私たちは現実を引き起こしている仕組みの現実を知りたいと願い、新たな世界へ飛び出さずにはいられません。

さて現代人にとって、絶対安心の基準と根拠というのは、実に常軌を逸した話題だと思われまふ。だからこそ慎重に現在の世界が示している現実を観察することによって、真実が何であるかを明らかにしていきたいと思ひます。そこで科学的に現実を迫りたいと思ひますが、最初に基本的な疑問を解決しておきましょう。

そもそも「科学する」とはどういうことをいうのでしょうか？科学の基準とは何なのでしょう？あることが科学的であるかどうかを見極めるためには、まず科学の方法を知る必要があります。科学の方法には3つの原則があります。

- ①論理的な仮説を立てる
- ②実験によって仮説を証明する
- ③再現性によって確認できる

科学はこの3つの原則によって前の知識の上に新たな知識を積み上げることによって、蓄積的進歩を可能にして発展してきました。

ところが現在、意識は実験によって証明できていないので、蓄積的進歩がありません。だからいくらか論理的な仮説を立てても科学としてはまったく認められません。科学しようとする意欲も生まれないうのは当然です。そのようなわけで現在、意識は決して科学になっていないというのが、一般的に了解されていることだと思ひます。

しかしながら釈迦の出現以来、年間わずか100人であったとしても、これまでに25万人の人々が釈迦のいう絶対安心の世界に進み、この世界に進んだ人々は、皆同じ

事を語っていることに注目すれば、実験によって証明できなくても、釈迦が発見し、白隠禅師が改良を加えた方法が、再現性によって確認できることが立証されているのですから、3番目の条件は満たしています。同じ方法を使えば同じ体験が再現されるといふことは、蓄積的進歩が無いからといって、仕組みが無いことの証明ではありません。むしろ誰でも同じ結論に至るといふことの中に、明白な仕組みが存在している証拠だといえます。

確かに意識を科学しようとしても、意識には純粋な科学としての資格がありません。しかしこれまでも、純粋な理性だけでは闇に迷い込むだけであろうと観察してきました。このように考えてくると、自分独自の個性的な人生のすべてを肯定していき、知らぬ間に迷い込んでしまった闇夜から出て、生き活きと生きていこうとしている私たちに、とって重要なのは、自分が生きる基準が純粋な科学であるかどうかよりも、自分の喜びの源になるかどうか、ではないでしょうか？

しかし一方で私たちは、理性的

に納得できれば、新しい知識を振り落とすことができます。そこで本日は、できるだけ広く現実を観察し、世界が示している証拠によって、意識を理解する、という方法を取りましょう。世界を観察することによって、意識とは何かという仮説を立て、自分の心と体を使って再現することで、自分で振り落とすという方法を提供したいと思います。

そこで本日は意識を科学するために、

- ①意識はどこにあるか？
  - ②意識は何をしているか？
  - ③意識はいつからあるか？
- という3つのことを考えた上で、現代に生きる私たちが一般的に困惑している

④意識は肉体の死と共に消えるか？

つまり、「人は生まれて、生きて、死ぬ」という考え方は本当か、ほかの考え方は完全に間違いなのか、という大疑問を考えてみたいと思います。この疑問のバズルを解いた結果として、私たちは人生を安心して生きて良い根拠を手に入れることができるはずですし、解けたバズルによって、安心の根拠を納得できれば、絶対安心に至れる

はずです。

まず、「意識はどこにあるか？」という意識に関する最初の疑問から考えましょう。意識がどこにあるかを知れば、意識の仕組みの一部が分かるに違いありません。



意識は、

- ①体の一部だけにあるのか、それとも全体にあるのか？
  - ②体の内部だけにあるのか？ それとも外部にもあるのか？
- この2つを検討すればよいこととなります。

では擬態生物を観察してみまし

よう。擬態生物を見ると、たちまち疑問がわいてきます。(鏡で自分の体を見るわけでもなく)自分の目で見えないところが、どうしてこんなにも環境に似るのでしょうか？何も教育されないのに、ここなら安全と知るためには、環境に紛れている自分を意識できなければならぬはずですが。ある植物と完璧に似た体を手に入れても、もし留まる植物を間違えたら、たちどころに捕獲されてしまうでしょう。擬態が成立するためには、3つの条件が必要になります。

環境を自分の体にコピーするには、肉体の目以外の視力で自分の体を、自分の体の外から環境ごと見なければならぬはずですが。つまり擬態が成立するためには、第一に、意識の中に体ができている必要があります。するとここで意識の仕組みに関して、新たな2つの疑問が起きます。

- ①意識の仕組みの中に体があるのは本当なのか？
- ②肉体の目以外の視力などがあるのか？

状況証拠を沢山集めて、理解するしかありません。

※いくつか挙げられた例のうちの

(二例) 東京大学総合研究博物館、大場秀章教授の著書『植物は考える』によると、「植物には会話し、変身し、動物を操る智慧がある」例えば、「雄蜂が近づくと瞬間花がそれを捕らえて花粉のスタンピングを押すハンマーオーキッドは、自分の花の形が蜂の雄に雌蜂のように見えていて、自ら雄をおびき寄せると意識できている」のです。なぜならもし、花が突然変異によって偶然蜂の雌に似たのだとしたら、自ら動いて花粉のスタンピングを押す行動がどうして生まれるのでしょうか？

生物は意識をどのように使って行動しているか？ について次の9つを挙げてみました。

- ①外部を感知し認識し、判断する
- ②体全体を統括するシステム
- ③エネルギーを操る
- ④時々刻々、内部の変化を認識する
- ⑤物質としての遺伝子を操る
- ⑥細胞の増殖に先立って、複製される
- ⑦個体の進化と直接関わっている
- ⑧イメージによって動いている
- ⑨記憶によって、意味のある活動

をする

この中で5番目と6番目については本当なのか?と疑問に思われるでしょう。今回はここだけ詳しく説明させていただきます。

「意識が遺伝子を操る」と考えられる一例として、元東京医科大学准教授の志村則夫博士の著書「いのちとは何か」に、江上信夫東大教授の性転換する魚の実験が紹介されておりあります。

「ハナダイ」は雄一匹が十数匹の雌を従えて紅海を回遊しています。雄が死ぬと雌の一匹が雄に性転換するといわれています。それを江上先生が研究室の水槽の中で証明しました。

透明ガラスでできた2つの隣り合った水槽に、それぞれ雄と雌のハナダイを何匹かず別々に飼います。このときは何も起こらなかったのですが、2つの水槽の間に障害物を置いて、互いに見えなくすると、なんと雌の一匹が雄に性転換してしまったのです。障害物が置かれ、雌の視界から雄が消えることで、雌に性転換が起こっています。

つまりこの実験では、性転換が意図的に行われていることが分か

ります。雄がいけないことに気付いた仕組みである意識が、遺伝子を操っていることになりました。この実験は、意識の力で遺伝子が操られていることを示しています。

ちなみに、イソギンチャクと共生するクマノミは、雌がいなくなると雄が雌に性転換します。性転換する魚は実は沢山います。

ゾウリムシは通常横に分かれて、1つの細胞が2つになります。細胞分裂によって増えます。ところが環境が悪化すると、同じ遺伝子では住みにくくなります。するとゾウリムシは自分とは違う遺伝子を持つている個体を探し出し、接合という方法でお互いの遺伝子を入れ替えます。入れ替えた後、2つに分裂して、それぞれの体の中で遺伝子を一旦バラバラにし、組み直し、何回か分裂を繰り返した後で元に戻ると、再び通常の細胞分裂を繰り返します。ゾウリムシはこのようにして生きています。ゾウリムシは自分で自由自在に遺伝子を操っています。

擬態に関しても、擬態が可能になる第2の条件は意識が遺伝子を操ると考えて始めて、生物が見事なまでに擬態を仕上げた現実を理

解できます。

次に「意識は細胞の増殖に先立って、複製される」ということを考察してみます。

細胞分裂したゾウリムシは、直ちにゾウリムシとして生きることができのですから、分裂を始めるときに、できかかっているもう一方の体を意図的に操っているのは、元の体の意識ではなく、新しい体の意識のほうです。だからこそ分かれたら、別々で生きていくはずです。細胞という物質を再生する前に、物質を操る意識を再生しなければならぬことになります。

※この後、いろいろな例から、「意識の中には過去世の記憶があること」と「意識の中には過去世を操る仕組みがある」また「意識は人の心の中に感動や自責の念を生み出す」「意識は生物の擬態や性転換、そして何より進化を起こす力である」ことを解説されました。

そして、ここまで考えてくると、心を無意識のうちに操る力が存在することを、否定できなくなっているのではないのでしょうか?

そして、その無意識の中で働く

力を、日本では古来「魂」と呼んできたことに思い当たると思えます。意識と呼ばれる心の働きの一部に魂が関与していることは明白です。つまり、命が自動的に体を操っているように、永遠不滅の記憶情報である魂も、自動的に心を操って、心に変化を起こしていきいます。意識の一部として魂が働いているということは、目に見える命の働きの他に、目には見えない魂も確実に心と体を操っている、いうことになります。

先ほどからずっと明らかにし続けてきた意識の仕組みから、魂の存在を明らかにできます。そして魂の大部分は無意識の中にあり、日常生活の中ではほとんど潜在しているため、日常の自分には分からなくなっています。

結論として、「魂とは、体全体を包む意識、記憶、進化する意図をもつ」といえます。新しく進化するために人生に問題が起こるのであり、自分自身の生物の時間の中で、今の自分の経験が時間と共に記憶の中に蓄積されていくこととなります。ですから現在直面する問題を工夫する記憶と時間が過ぎ去るものではなく、積もり行くも

のとして蓄積され、やがて砂時計が半回転して、新しいときを刻み始めるように、この世における工夫が、次の自分の人生をより良いものに飛躍させる源となることとなります。

この考え方の中では、たとえ今の問題が解決できなくても、問題を進化させるチャンスだと捉える考え方の中で工夫するなら、問題そのものが昇華して、消えることが分かります。人生の時間軸の中で、自分がこの人生を生きる基準が明らかになれば、その結果、人生の出来事はすべて幸せと喜びの源になるはずで。

考えてみれば、人生は「生きる意味」で貫かれているといえます。その理由は、魂が進化しようとしている方向に、自分も生きる意味を見出して来たからではないでしょうか？ 自分が人生を生きる意味は、魂の中に既に常に完全にある、といえます。つまり、永遠不滅の記憶情報である魂を明らかにして、「自分が幸せである根拠」が予め明らかになっていけば、これ以上の安心の源はないといえます。

## 平成26年4月本部例会報告Ⅰ

生命の智恵 アーユルヴェーダ  
—アーユルヴェーダから見る  
生命のすばらしさ—

講師 西川眞知子氏

アーユルヴェーダというのはインドの梵語すなわちサンスクリット語で、元々はインドで生まれまして五千年の歴史をもった伝統的な医学です。アーユスというのが「命」で、ヴェーダは「科学」とか「智恵」という意味なので、今日はアーユルヴェーダを「生命の智恵」というふうに題させていただきました。でも今ちょっと触れました「ヴェーダ」というのは、インドでは昔から宇宙には始まりも終わりもないように、ずっと永遠の智恵であり、そこには純粋な意識が常に存在しているものだ、そしてヴェーダというものは変わることはないのだ、というふうに説かれています。

それだけだと分かりづらいので、後の時代に4つの書物に書かれています。世界で一番古い書物

が「リグ・ヴェーダ」で、「サーマ・ヴェーダ」、「ヤジュル・ヴェーダ」、「アタルヴァ・ヴェーダ」が書かれています。その後、生命というものがより健全に、そして寿命が全うされるまで、できるだけ幸福な人生を生きていこうという、その礎のためにアーユルヴェーダというのが説かれたと言われております。



今日は後半で、実技の時間としてヨガをやらせていただきます。ヨーガというと、現在肉体的な激しい鍛錬のように取られておりますが、ヨガは元々インドで生まれた6つの哲学の一つであり、「つながる」という意味を持っておりま

す。またヨーガは、このアーユルヴェーダとは、五千年の歴史を両方が共にする、素晴らしい生命の智恵を説いていくもので、今日はこの2つを羅列させていただきま

す。ヨーガとアーユルヴェーダを生活の中でほんのちよつと取り入れていくだけで、私たちは今以上にベターな日々を暮らしていきたい、ということをご提案させていただきます。

この図にあります「地水火風空」はアーユルヴェーダを説いていくときに、基本的な概念となります。どういったことなのかと申しますと、私たちを取り囲んでいる自然、私や貴方を含めたあらゆるものが、この5つのエレメントで構成されていると考えるのがアーユルヴェーダです。ここが中国の医学ですと、「木火土金水（もくかどごんすい）」という5つになります。これは両方とも神事ですが、ここが違っているということではなくて、風土であるとか、そこが育っていく過程の中で元素の見え方、見方、表現が変わってきていることだと捉えていただければ、有り難いです。

自然も私も貴方もこの5つの要素でできている、ということだと、おかしいよね？ 例えば同じ物を食べても太りやすい人もいますし、どんな物を食べてもなかなか太れない人もいます。同じ問題に對してすぐにいらいらする人もいますし、非常に安定していて、動じないようなタイプの人がいます。



これらの違いはもつと細かく言えば、沢山あります。アーユルヴェーダでは、みな同じ要素でできていますが、それぞれのエレメントのパーセンテージが違うことによって、いろいろな違いが生じる

と考えます。

「地」は自然界に存在しますし、ここは7階ですが、この建物を通じて大地に通じ、そして大地の上に建物が建っているというふうな考えることが出来ます。そうすると、「地(土)のエネルギー」というのは何を表しているのだろうか？ というふうに捉えていただけではないと思います。

大地は毎日様々なものを下から支えながら、また私たちは大地を毎日踏んだり蹴ったりしています。しかも大地は作物を育み、育てていく力となるので、地のエネルギーというのは、「安定」であったり、「支える構造」というふうには、アーユルヴェーダでは考えます。

「水」は自然界では、雨や海や川や飲み水であるとか、まさに水が無いと私たちの生命は存在し得ないのです。この水は様々な形になります。凍りついたり、蒸気になったり、サラサラと流れたりするので、アーユルヴェーダでは水を「変化」というエネルギーをもって考えると考えておきます。

「火」は自然界では太陽の光であったり、太陽の力であったり、食べ物を調理する力であるので、根底にもっているのは熱の力であり、物事の形を変えていくので、アーユルヴェーダでは火は「変換」のエネルギーだと考えておきます。

「風」は実際に自然界にあり、ものを動かしたり散らしたりする力であり、アーユルヴェーダでは風は「移動性」を表すと考えられます。

「空」はアーユルヴェーダおよびヴェーダを語っていくときは至って難しいところで、「般若心経」の中にも「空」の言葉があり、非常に深い概念になりますが、ここでは簡単に、私たちが取り巻く環境でいいますと、「空間」と考えることができます。

私たちの環境には大地があり、雨が降り、太陽の日差しがあり、風が吹き、広い空間があります。

私たちもこれらの5つの要素でできていると考えたとき、大地のエネルギーは構造であるとか、支

えるということ、「筋骨格系」というのが、地の元素が造りこんでいるものだと捉えていきます。例えば骨太の方、体格的にがっちりしている方は、もうすでに地の要素を多めにもっていると考えられます。これが精神的なものにも関係するとアーユルヴェーダでは考えていて、地の要素は忍耐力や動じない力を与えていくと考えていきます。何か不安がわくときは、その方の地の要素が少なくなっていると考えられます。

私たちの中で、水の要素は体液として考えており、マインド面では優しさであるとか涙であるとか、私たちの感情面にとっても関係していると考えられます。

火の力は、私たちの体の中では体温であったり、消化力であり、体温が高めの方や、前に向かって頑張ろうという意志の力は火の要素が非常に関わっており、諦めるのは火の力が弱っているときに起こりやすいと言われます。

風の要素は、私たちの体にとっては、呼吸や血液の循環であり、

マインド面ではアイデアとか閃きとか直感的な力は風が司っていると考えられます。

空というのは私たちの体では、鼻腔、口腔、胸腔というような、詰まった状態ではないところを表現し、マインド面では可能性を表し、空の力の強い方は大いなる志とを持っていたり、あるときは忘れるという行為も空の力が関係すると考えられます。

アーユルヴェーダでは、この5つの元素だけで様々なものをシンブルに見ていくことができますが、最近では私は、アーユルヴェーダならぬ、「ワユルヴェーダ」という言い方をして、5つの元素で様々なものを見ることによって、その下の「カパ」「ピットタ」「ヴァータ」をあまりお話ししないことが多くなってきましたが、取りあえず今日はそちらもお話しさせていただきます。

これはそれぞれの5つの元素がバラバラな働きをしていると、なかなか力が強くなれないので、2つの元素がコラボをします。(図

のミスがあります。↓ピットタは火だけではなく、水と火のコラボです。地と水が一緒になると、大地の乾きに対して水を練っていくと、造のエネルギーとなり、これを「カパ」と呼んでいます。

「ピットタ」というのは、火に水を差すと、火の暴走を止めていくこともできるし、またあるときは、水は液体全般を指し、油も含み、火に油を注げば、火がボウボウと燃えていくという状態も表します。

「ヴァータ」というのは、空間の中で吹く風という感じで、運動のエネルギーを司っているものと考えます。

ここでアーユルヴェーダでは、人というのは元々生まれもった体質として、「カパ」の傾向であったり、「ピットタ」の傾向であったり、「ヴァータ」の傾向であったりと捉えます。

後ほど皆さんにやっていただく「ブラクリティチェック」という問診表は、元々の生まれもった体質をみていくというチェック表になります。

もう一つ「ビクリティチェック」という問診票は、現在のライフス

スタイルで、何が多くなっているかのチェック表です。

図の「カパ」「ピットタ」「ヴァータ」の下のところは、日々のライフスタイルと関わっており、それぞれにアンバランスが起こることを示しております。(次号につづく)



### 第三九三回関西日本サイ 科学会研究集会報告

α波における右脳と左脳との  
コヒーレンシーについて

講師 志賀 一雅氏  
(脳力開発研究所)

とき 平成26年11月15日  
ところ 大阪科学技術センター

志賀氏は1937年9月東京生まれ。1961年電気通信大学卒業後、松下技研に勤務。1971年東京大学工学部計数工学科研究員を兼務し脳波研究。1983年脳力開発研究所設立。パソコンを

用いた脳波分析システムを開発し、大学や企業の研究所へ提供。アルファ波を指標としたメンタルトレーニング指導で、日本航空、日本IBM、NTTなど、大手企業の脳力開発研修を行う。2008・2009年文部科学省より委託を受け「専門学校教職員、学生のためのメンタルヘルス・脳力開発プログラム」を開発。著書は「全身の疲れがスッキリ取れる本(三笠書房)」など多数。2011年3月に米国HHS(米国保険社会福祉省)より、長年にわたる脳波とメンタルトレーニングの研究、実践に対しGOLD AWARD(金賞)を授与。現在電気通信大学研究員。



ドイツのハンス・ベルガー (Hans Berger 1873 - 1941) が人間を被験者にして初めて脳波を観察して90年にもなり、臨床には盛んに活用されているものの、脳波の発生機序、特に共鳴振動波のアルファ波については未知のままです。

臨床脳波の教科書にはアルファ波は閉眼時に主として後頭部から観察され、目を開けたり考え事をするとき消失するので脳の神経回路があまり活動していないアイドリング状態、つまりリラククスの脳波であるとされています。医学系の専門家は惚けの脳波とまで主張しています。

しかし、アルファ波は開眼状態で前頭部から緊張していても観察されることがありますし、リラククスしていても全く観察されないとともにあります。そのために工学系の脳科学の立場からはリラククスの脳波とは考えず、調和振動波形をしているので、たぐさんの神経回路が共鳴活動しているか、ある特定の神経回路の引き込み現象であると考えます。

また、臨床脳波ではアルファ波を周波数で定義して8 Hz以上とし、8 Hz以下はシータ波と呼ん

でいます。アルファ波とシータ波との境界を8 Hzとしたのはあくまでも便宜上で特別の意味を示していません(睡眠の専門家で7 Hzを境界にしている人もいます)。

大脳は情報処理の器官ですから、電気的な信号の波形に深い意味が込められています。サイン波のような綺麗な形をして振幅が大きくなったときは、たぐさんの神経回路が共鳴活動をしていることを示していますから、これをアルファ波と定義し、共鳴の崩れた波は振幅が小さく複雑な波形になりますからベータ波とし、トリガー信号をシータ波と定義すると分かりやすくなります。

このように決めてもベータ波は12 Hz以上ですし、シータ波は8 Hz以下になります。問題は7・8 Hzのところの強い調和振動が観察されるのでシータ波と云わずにアルファ波と表現したいのです。そこで、アルファ波帯域を3つのゾーンに分けて観察してみます。

10 Hz ~ 12 Hzは、振動が速いのでファストアルファ波と呼ぶことにしましょう。これは緊張した集中状態のときに観察されます。ストレスを伴いますので波形が崩

れてベータ波になりやすいです。ヨガのアーサナで強く現れます。ビギナーはすぐにベータ波になりますがエキスパートは持続でき、サバアーサナで周波数が低くなります。

10 Hz ~ 9 Hzはアルファ波の中央部分ですからミッドアルファ波と呼ぶことにします。この波が観察されるときはリラククスした集中状態で、頭は冴え、身体は柔軟に動き、さまざまな能力が遺憾なく発揮できます。

この状態からさらにリラククスが深まると9 Hz ~ 7 Hzのゆっくりとした振動になり、スローアルファ波と呼ぶことにしました。意識は低下し、寝てはいないけども思考は働かず無意識状態になります。催眠のトランス状態と同じです。

この7・8 Hzは覚醒状態と睡眠状態との境界領域で、シユーマン共鳴の7・8 Hzとも合致しています。成層圏のバンアレン帯のプラズマ振動が7・8 HzであることもNASAのアポロ計画で宇宙衛星を打ち上げたときに実測されましたので、これらの合致には深い意味があると思います。

## 右脳と左脳との脳波共鳴

右脳と左脳とが10 Hzのミッドアルファ波で共鳴しているときは思い通りに動作表現ができ、問題解決の妙案も閃いて知的活動がうまくいきます。ところが7・8 Hzのスローアルファ波で共鳴すると意識は低下しますがESPやPK現象が強く生じます。「気」の交流も激しくなります。

指笛の名手Memi Graceさんは、指笛を吹いているときに神からのお告げをいただくそうです。神のお告げは主観ですから計測できませんが、指笛は収録できますし脳波も測れますから相関分析が可能です。結果は期待通りでした。

始めのリラククス状態では右脳と左脳の脳波は10 Hzでコヒーレントでしたが指笛を吹き出すと次第に7・8 Hzでのコヒーレント状態が多くなり、それに伴い指笛のビブラートが7・8 Hzになったのです。このときから周辺に野鳥が集まってきて喧しく囁りだしました。ひよつとすると鳥の脳波が7・8 Hzで共鳴したのかも知れません。

オペラ歌手の柏田ほづみさんも歌っていると鳥が集まり、ホウエー

ルウォッチングでは歌で鯨を引き寄せたそうです。

ほづみさんが茨城県の御岩神社に奉納演奏をするということ現場で脳波測定と歌の収録を行い分析したところ、同じような結果が得られたのです。閉眼で安静状態では10Hzで右脳と左脳との脳波はコヒーレントになっていました。歌が始めるとすぐに7・8Hzの共鳴が起きます。このときの歌にも強いビブラートがかかり、ビブラートの周波数分析をしますと7・8Hzになっていました。声に脳波が乗っていることになりました。そして鳥が寄ってきます。

バンアレン帯の7・8Hzのゆらぎは地球上に生命が発生する前から存在していたわけで、7・8Hzのゆらぎの中でたんぱく質が合成され、DNAができ、細胞が生じて生物進化してきた事を考えると、人も鳥もクジラも7・8Hzで共鳴し合う構造なのかも知れませぬ。

釈迦の動物絵図は地球上のあらゆる生き物が共存共栄していることを示していますが、7・8Hzの共鳴なのでしょうか。このゆらぎには情報が含まれますからアカ

シックレコードでもありますね。人と人との脳波共鳴だとすれば2人の脳波も共鳴するはず、と云うことで鍼灸治療における脳波も計測してみたいところ見事に的中しました。

鍼灸師と患者さんがリラックスした状態での脳波は相関がありませんが、触診した段階では10Hzでときどきコヒーレントになり、鍼をたてようとしたら7・8Hzで強く共鳴しました。鍼をたてずに手かざしてみても同様に7・8Hzで共鳴したので、指圧やマッサージ、エステや占い、催眠誘導なども同様に脳波共鳴が起きているのではないかと思われまますので実験を続けています。

また、人と人との脳波共鳴では、気が合う、気になる、気を入れる、など日本人の感覚には「気」の概念があります。これもお互いの脳波が7・8Hzで共鳴しているのではないかと思われまます。

右脳と左脳との脳波が7・8Hzで強く共鳴すると「気」の出入りが強くなり、気がする、気になるなどのESP感覚、気を入れるとPKなど作用力が働くと思われまます。

残念ながら科学では「気」の定義がないのでエビデンスが得られませんが、7・8Hzのゆらぎが「気」の実態ではなからうかと考えています。(志賀一雅氏)

☆ ☆

気と脳波、シューマン共鳴、鳥のさえずりなど興味深い話であった。

当日の参加者は会員15名、非会員19名、合計34名でした。

講演記録テープは2000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

### 第三九四回関西日本サイ科学会研究集会報告

#### 手相の神秘と科学

— 脳の活用で手相が変わる —

講師 高峯 秀樹氏

日本意相学研究会(手相研究)

代表

とき 平成27年1月17日  
ところ 大阪科学技術センター

高峯秀樹氏は1932年神奈川県生まれ。早稲田大学第一商学部卒、(株)大丸入社。本社営業、宣伝各企画担当部長。主な所属団体は医療ボランティア、骨そしょう症、生活習慣病ネットワーク理事、健康セミナー手相コーナー担当、俳誌「天弓」主宰 著書 未来を知る手相の科学



最近若い女性だけでなく、高齢者が手相診断に来るようになった。残りの人生をいかに生きるか。右脳はイメージ、左脳は理屈を司ると云われる。イメージは脳に絵を

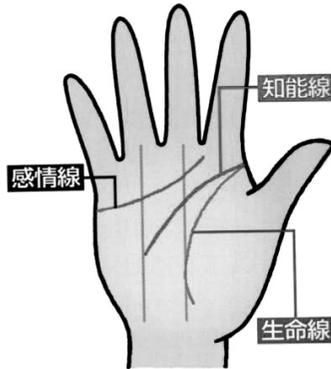


画くこと。油絵、書、俳句等を始める。と手相、特に左掌の手相に顕著に変化が現れる。「掌は脳の外部表現」である。三年余の医療セミナー手相診断成果を報告した。

手相への関心が高齢者に広がる。手相は若い女性の楽しみだった。ところが最近高齢者が気軽に手相診断に来るようになった。残り少なくなった人生をいかに生きるかがテーマである。アドバイスは右脳の活用で、医療セミナーで手相診断する現場からレポートする。

①手相技術にも時代に合った見方が必要。

手相術の歴史は事例の積み重ねによる統計的アプローチが主流である。私は哲学者カントの「手は頭脳の延長である」をヒントに「掌は脳の外部表現」を仮説として時代に合った論を考える。又、科学的アプローチの一環として数運学を活用して未来をアドバイスしている。



②右脳の活用でピカソのように元気で長生き。

人生の楽しみは元気で長生き。右脳はイメージ、左脳は理屈を司ると云われる。イメージは脳に絵を画くこと。油絵、書、俳句等を

始めると手相に変化が現れる。左掌の手相に顕著である。自身の25年を省みて手相の神秘に驚く。現在では脳に関する専門家が脳の活用法を説いている。

(1) 顔の顎角張る人は晩年運  
(2) 両耳の下に付くほど進化する  
(3) 吹出物急に出る時用心を  
(4) 根柢なく性格判る血液型  
(5) 星占い12星座で座談かな  
(6) 身長に比し指長きは保守的  
(7) 生まれ日で変化の起こる年予測

(8) 縦線は運氣盛大横停滞  
(9) 6本の線で読み取る手相術  
(10) 生命・知能・感情線は遺伝にて  
(11) 運命・太陽・財運線は後天的  
(12) チンパンジー 人との違い知能線

(13) 知能線短き人は即断で  
(14) 知能線下へ流れれば愛に生き  
(15) 生命線大き弧なれば絶倫で  
(16) 感情線短き人はクールにて  
(17) 感情線余り長きは嫉妬深し  
(18) 運命線中指に向け延びてよし  
(19) 太陽線長きはモチモチ期待出き  
(20) 財運線入りと出の差の差引が

(21) 結婚線一本長きが理想にて  
(22) 結婚線伸び行く先で運変わる  
(23) 結婚の相性運勢重ね見る  
(24) ビジネス運運命線を確と見る  
(25) 運勢の改善大脳活性化  
(26) 運命の改善難し修業要り

☆ ☆

手相は脳を写しているという。その脳は自分の未来を反映している。脳が変化すれば手相も変わるらしい。脳を鍛えることで自分の未来が変わるといふことである。

当日の参加者は会員12名、非会員11名、合計23名でした。  
講演記録テープは20000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。  
関西日本サイ科学会会長  
河野 明夫



火山爆発VEI 1に予知が変更されていた。この変化を重大なものと認識していたならば、その時にその火山爆発を事前に予知できていたことになる。

そのためには、予知することを仕事として、その日に朝からこまめに真偽判定実験を繰り返していたならば、その火山爆発を事前に把握できたことになる。ただし、一日中常に真偽判定実験を繰り返している必要があること、およびそれを予知することで新たな予知変更を誘導しないとの条件がつかう。

この火山爆発は、2.1に示したように、2014年9月27日10:50の時点で魂と肉体が分離して、起こる確率が一番高いと予知された年月日が2024年1月25日から大幅に前倒しとなったものであり、しかも確率が一番高いと予知された年月日が魂と肉体で異なっていた。魂と肉体が離れたり、寄り添ったり、合体したりしながら、起こる確率が一番高い年月日時刻と起こる確率がゼロでない期間時刻が完全に一致した11:53にそれが現実となり、御嶽山は火山爆発したことになる。

したがって、現在の予知のレベルでは、2014年9月27日11:14の10秒前に火山爆発を予知できることになる。約39分前となる。

### 3. 2015年に起こる確率が一番高いと予知された天変地異

2015年7月3日非常に大規模火山爆発 VEI 5

桜島火口A、桜島火口B

2015年7月4日放射能事故 川内原発

2015年6月4日超巨大地震 M9.0

東京都江東区 深さ45km

2015年7月3日やや巨大規模火山爆発 VEI 6

富士山白山岳新火口

2015年11月29日超巨大地震 M9.0

東京湾中央 深さ5km

2015年11月30日津波

東京都沿岸 25m、千葉県沿岸 25m、

神奈川県沿岸 25m、静岡県沿岸 20m、

愛知県沿岸 15m、茨城県沿岸 15m

### 4. あとがき

2014年9月27日に起こった御嶽山の火山爆発の予知の推移を示し、その検証において、それを予知できなかった原因を明らかとした。また、真偽判定実験を一日に何度もこまめに行っていたらその予知は可能であったことにも言及した。天変地異には魂と肉体があることを明らかとした。起こる確率が一番高い年月日と起こる確率がゼロでない期間などを予知することが重要である。2015年に起こる確率が一番高いと予知された天変地異(地震2件、火山爆発3件、放射能事故1件、津波)について、起こる確率が一番高い年月日を示した。

霊が関係した天変地異が予知されると、それだけでそれを変更させるキッカケともなる。そして、その予知を知らされた人々がそれを認識して、それが起こらないようにと念願する時、その意識は宇宙全体にゆきわたり、計画されていた天変地異が回避される場合がある。本研究を発表することはこのような効果がある。皆様の多くの方々の祈りにて、この危機的な状況を是非回避してほしい。さらに、多くの方々にこの情報が知られてその効果が増幅することを祈っている。

この研究が印刷され配布された後には、それらの予知が現実となるのか変更となるのか回避されるのか明らかとなってくる。しかしどのようになったとしても、このように一度、予知された天変地異は完全に解消されない限り、いずれそれらは起こってしまう。

私たちは、宇宙のありとあらゆるものにつながっている永遠の存在であり、いつか関係しあう仲間であると認識して慈愛を真に学ぶことが求められている(参考文献参照)。

最後に、貴重な御指導に対して、安部賢司氏に感謝申し上げます。

### 参考文献

小林正典、サイ科学、Vol.36、pp.56-63、2014

(肉体)(魂) 2015.12.24に起こる確率が一番高い  
と予知された大規模火山爆発 VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

(魂) 11.11 VEI 4～2015.2.6 VEI 4

(肉体) 11.11 VEI 4～2015.2.6 VEI 4

魂と肉体が合体

2014年11月10日17:25時点

(肉体)(魂) 2024.1.25に起こる確率が一番高いと  
予知された大規模火山爆発 VEI 4

起こる確立がゼロでない期間一番早い場合

2014.11.10 17:25 : (肉体)(魂) 11.12 VEI 4

その後この期間は変更を繰り返して、

2015.4.1 : (肉体)(魂) 2015.7.3 VEI 4

## 2.2 御嶽山の火山爆発の予知の検証

2014年9月27日に起きた、御嶽山の火山爆発の予知について、私が最初に予知できたのは、2014年2月27日のことであった。その当時は、天変地異には魂と肉体があるとは認識していなかった。

その後、2014年10月2日にレヨコンプを用いた遠隔治療に協力することになった。私の役目は遠隔するための基本周波数を真偽判定によって見つけてそれを知らせることである。その効果を検証している過程で、実験の判定結果と現実との乖離の解明から、魂と肉体の両方の遠隔治療が必要であることがわかっていった。それがキッカケとなり突然、2014年10月17日13:30ころに、天変地異にも魂と肉体があるのではないかとのインスピレーションが湧き上がった。2014年10月18日に天変地異にも魂と肉体が存在することがわかった。

2014年11月26日半蔵門で開催された未知領域研究所の研究討論会において、その代表である安部賢司氏から、私の天変地異の予知は霊(Spirit)が関係したものに限定されていて、純粹な自然現象としての天変地異は予知できないはずである、と指摘された。また、霊が関係した天変地異では犠牲者が多数であることが特徴であるとも指摘された。霊が関係していない自然

現象としての天変地異を私は予知できないこと、霊が関係している天変地異を私は予知できることを、真偽判定実験にて確認できた。

さらに、2015年3月2日には、起こる確率が一番高い年月日や起こる確率がゼロでない期間などを予知できるのではないかとのインスピレーションが突然、湧き出した。私はそれらを予知できることが、真偽判定実験にて正しいと判定できた。

2.1に示した結果をもとに、2014年9月27日に火山爆発した、御嶽山に関するそれまでの予知を検証することにより、その年月日を予知できなかった原因について考える。

2014年9月27日時点に予知されていた年月日(再実験前)は、2.1で示した起こる確率がゼロでない期間の一番早い場合と一致していることがわかった。起こる確率が一番高い年月日と起こる確率がゼロでない期間の一番遅い場合は予知されていなかった。

2014年9月27日の朝(10時ころ)の真偽判定実験では御嶽山の火山爆発の予知は前日からのものと変更はないとなっていた。すなわち、2014年8月30日時点で予知した2014年12月24日中規模火山爆発 VEI 2であった。

ところが、2014年9月27日11:53に御嶽山は火山爆発を起こした。

真偽判定実験は朝に行い、翌日まで実験は行わないことが多い。そのために、つぎに再掲載するような2014年9月27日に起きていた予知の変更を把握できていなかった。

2014年8月30日時点

12月24日中規模火山爆発 VEI 2

2014年9月27日10:50時点

9月27日11:14小規模火山爆発 VEI 1

2014年9月27日11:14の10秒前の時点

9月27日11:53小規模火山爆発 VEI 1

2014年9月27日10:50になって、12月24日中規模火山爆発 VEI 2から9月27日11:14小規模

# 御嶽山の火山爆発の予知の検証と天変地異の予知

小林 正典

## 1. まえがき

天変地異を予知することにより、多くの人々の命を救うことを使命と考えて、2012年12月3日から毎日実験を継続していた。そのような最中に、2014年9月27日に御嶽山が火山爆発した。その朝に実験した予知では、御嶽山の火山爆発は2014年12月24日であった。

本研究は、その火山爆発の予知を検証することにより、その年月日を予知できなかった原因を明らかとしている。さらに本研究を可能とした3つの気づきについて、そのキッカケも示して説明している。

本研究は真偽判定実験(参考文献参照)により得られたものであり、2015年に起こる確率が一番高い天変地異の予知をも示している。

## 2. 御嶽山の火山爆発

### 2.1 御嶽山の火山爆発の予知の推移

ここでは、御嶽山(35°53'34"N, 137°28'49"E)の火山爆発の予知に関する変化の推移の概略を示す(2015年3月6日までに到達した真偽判定による再実験結果)。

2014年2月27日時点 起こる確率が一番高い年月日(肉体)(魂)2024年1月25日に中規模火山爆発VEI 2(VEIは火山爆発指数)

起こる確率がゼロでない期間一番早い年月日(一番遅い年月日は、起こる確率がゼロでない期間の中央の年月日が、起こる確率が一番高い年月日2024年1月25日となるように決まっているので省略する。)

2014.2.27時点(肉体)(魂)2014.3.4 VEI 2

その後この期間は変更を繰り返して、

2014.8.30 : (肉体)(魂)2014.12.24 VEI 2

2014.9.27 10:50の時点で魂と肉体が分離

2014年9月27日10:50の時点 起こる確率が一

番高いと予知された年月日時刻

(魂)2014年9月27日11:53 VEI 1

(肉体)2014年12月24日23:59 VEI 1

起こる確率がゼロでない期間時刻

2014.9.27 10:50時点

(魂)9.27 11:14 VEI 1~9.27 12:32 VEI 1

(肉体)12.24 23:59 VEI 1~12.24 23:59 VEI 1

2014.9.27 11:14の10秒前 魂と肉体が合体

2014年9月27日11:14の10秒前 起こる確率が

一番高いと予知された年月日時刻は

(肉体)(魂)2014年9月27日11:53 VEI 1

起こる確率がゼロでない期間時刻

(肉体)(魂)9.27 11:53 VEI 1~9.27 11:53 VEI 1

起こる確率が一番高い年月日時刻と起こる確率

がゼロでない期間時刻が完全に一致した。

御嶽山はその11:53に火山爆発した。

2014年9月27日14:50時点 新たな予知

(肉体)(魂)2014.12.24に起こる確率が一番高い

と予知された大規模火山爆発VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

初めから魂と肉体が分離状態

(魂)9.29 VEI 4~2015.3.19 VEI 4

(肉体)12.24 VEI 4~12.24 VEI 4

その後この期間は変更を繰り返して、

2014年10月14日18:00時点

(魂)11.11 VEI 4~2015.1.30 VEI 4

(肉体)12.24 VEI 4~12.24 VEI 4

2014年10月17日13:30時点

(肉体)(魂)2015.1.10に起こる確率が一番高いと

予知された大規模火山爆発VEI 4

起こる確率がゼロでない期間

(魂)11.11 VEI 4~2015.3.9 VEI 4

(肉体)2015.1.10 VEI 4~2015.1.10 VEI 4

魂と肉体が寄り添う

2014年11月10日15:00時点

水膜を意味しており、ここには強い表面張力がある。別報で述べた様に、近赤外線は水と親和力が高いので、イオン・ボールは噴霧水滴(キリ状)に急速に吸収される。また図1(b)、(c)に含まれるエアゾール(埃、微細塵)は、帯電しており、オーブの核になる可能性が高いと判断している。

サイ(気)は、電子、陽電子、微細身素粒子(プラナー)群から構成されている。電子は空気中でも割合に安定に存在しており、陽電子は宇宙線や各種の $\gamma$ 線照射(自然放射線等)によって得られる。さらに、プラナーはエーテル(エネルギー)類似である。つまり、サイ(気)は、周波数(波長)の異なる光子群の集合から構成されているが、素粒子類似の性質を持つ(電子群、別報)ので、観測・測定する以前は、その存在は不確定である。

### 3)「たまゆら」の形成と内部模様

大気イオン・ボールは、ほぼ近赤外線量域の周波数を保ちながら、回転しながら進行・増大しているが、陰と陽の巴型の組合せの絞り込みによる両者間の押合いの力(エネルギー)がほぼ飽和する(変曲点)まで活性化させた時に零場が出来る。つぎに、これが点状になった時を零点と呼ぶ。なお零点はマクロ現象がミクロ現象に変換する箇所でもある。ここに「たまゆら」の核が形成され、撮影者から放出されるサイ(気)と核が共振・共鳴(同調)して「たまゆら」になる(生起する)、と推定している。

「たまゆら」は、外部からの光エネルギー(例、フラッシュ光)の助けにより、次第に進行してカオス・アトラクターを画き、オーブ(たまゆら)の円形内の諸模様(表情)を形成する事になる。カオス・アトラクターの内容(模様)を決めるものは、未知なる存在(SG)であろう、と推定している。

### 4) 実験値との対応

川崎利男ならびに佐々木茂美らの実験によると、(1)スプレーによる水滴(噴霧、キリ)が蒸発

して消える頃にオーブが発生する。水滴は直形約2mm以上になると、重さがあるので空中に留まる事は出来ない、と言われている。したがって、上空に浮かんで写っている約2mm以上の大直径の乳白色球体(内部模様が無い)はオーブ(たまゆら)である可能性が高い。(2)雨降り時に写真をとると、多数の微小白点が写る場合がある。円内に模様が無いのは多分雨粒であろう。同時に写る大中小直径で内部模様(表情)のある乳白色円形は多分、オーブ(たまゆら)であろう。(3)空間に浮かんでいるオーブ(たまゆら)と思える乳白色発光体をみる。ヘイロー(Halo)は均一で、短く、円形内部は半透明で明るく輝いている。この輝きが、フラッシュ光による反射光に依るものか、または、原子内の電子の移動に基づくエネルギー緩和発光に依るものか、さらには、彩度、明度、色相、がどの程度か。これらを測定し、比較検討する事が出来れば、真のオーブ(たまゆら)か、または雨滴の反射に依る偽オーブか?を判断することが出来るだろう。(4)空中に写される水滴(偽オーブ)は、小直径で乳白色発光体で不透明である。直形は約2mm以下であり、ヘイロー(Halo)は不鮮明、円形内部に模様(表情)は無く、不純物が含まれているもの以外は、ほぼ均質である。

### 討 報

佐々木先生の今回のレポートにもお名前が挙がり、長年のオーブ研究で皆様もよくご存知の川崎利男氏が2月3日に心臓の病で亡くなりました。

日本サイ科学会の全国大会や宇宙生命研究分科会でオーブ写真についての研究発表を沢山されていて、今後の研究の進展が楽しみでありましたので、本当に残念です。

心からご冥福をお祈りいたします。

ものを陽イオンボール(電子に相当)とし、下向きで右方向回転のものが陰イオンボール(陽電子に相当)になる一対を想定する。基盤に成るのが陰電子、陽電子のスピ対とバイオホトン(プラナー、エーテル体等のベクトル表示)の集合体である 図1の (a) 参照。これをオーブ・スピン対群と仮称する。中でも、周波数が近赤外線域に概当するもの(活性化エネルギー、約1.5eV)を対象にする。図の陰陽の一対は、右方向回転の巴形状組合せ 図1(a) であるが、当然の事として、左方向回転、さらには、裏表、左右、その他の様々な組合せ群から形成されている。全体として中和して、集合している場合を 図1の (b) 参照。オーブの単位体(イオン・ボール)という。さらに、このイオン・ボールが大量に集合したものを、通称 図1(c) オーブと言う。なお、以上の説明には電子を用いたが、実際には、光子群の組合せとして存在するのであろう。

図1(a)のオーブ・スピン対群は、オーブ 図1(c)の基盤でもある。つまり「オーブ」は電子、陽電子、生命体(プラナー)群から構成されている。電子は空気中でも割合に安定に存在しており、陽電子は宇宙線や各種の $\gamma$ 線照射(自然放射線等)によって得られる。図1の電子、陽電子の両側に配置されているベクトルは、生命体(人類、植物等)から放出されているプラナー(微細身素粒子、エーテル体、バイオホトン)を意味している。換言すると、オーブ・スピン対群は、周波数(波長)の異なる光子群の弱い結合(集合)から構成されている。したがって、素粒子類似の性質を持つ(電子群、別報)ので、観測・測定する以前は、その存在は非局所的・不確定である。

空気成分の電離とエアゾール(埃、微細塵)によって形成された図1(b)の大気陰陽イオン・ボール(オーブ)が、回転によって絞り込まれてゼロ場(ゼロ点)が形成され、そこに「たまゆら」の核ができる。撮影者の変性意識状態(ASC)時に皮膚から放出されるサイ(気)とオーブ上の核が同調(共鳴、共振)して「たまゆら」になる。そ

して、カオス・アトラクターを伴って成長して模様(表情)になり、写真に写る事になる。大気陰陽イオン・ボール形成とオーブは物理現象である場合が多く、これにサイ(気)が共鳴・加算されて「たまゆら」(マクロPK)になる、と判断・仮定している。

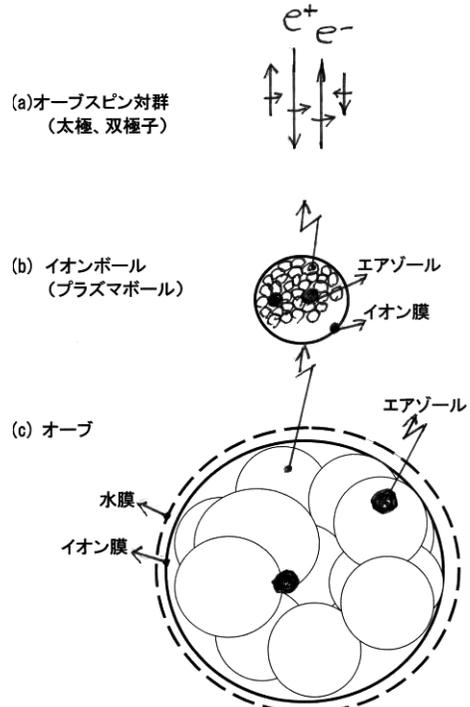


図1. オーブのモデル(仮定)

## 2) オーブ・モデルの提案

図1にモデル(仮定)を示す。図1(c)がオーブ、(b)がイオン・ボール(プラズマ・ボール)、(a)がオーブ・スピン対群(太極、双極子・巴型)である。ただし、(たまゆら) = (オーブ) + (自己・サイスピン対群)となる。ここに(自己・サイスピン対群)とは、撮影者自身の「個人的なサイ(気)」である。なお、サイ(気)は図1(a)のオーブ・スピン対群と同種・同類である。

図1(b)において、オーブが球形になるのは、イオン・ボール間に働く引力によって凝縮し、それぞれの表面に張力が働き、表面積が一番小さくなるのが球形である、からであろう(図の大円実線)。図1(c)で実線大円の外側の大円点線は



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## オーブ(たまゆら)と霧(水滴)の関係

佐々木 茂美

デジカメ(CCD)を用いて、空気が電離していると思われる薄暗い空間に向けてフラッシュ撮影する。すると、乳白色で小円状のオーブが、ノイズとして写り込んでくる。オーブは、水との親和力が強く、雨の降り始め前や、スプレー噴霧水の水滴が蒸発する後(川崎利男)に写り易い。しかし、現在のところ、オーブの本質は不明である。乳白色の強い発光体で、大直径で円内に模様のない不透明なものが真のオーブである、したがって、半透明で(薄くて)影があるものは偽オーブである、と言う主張がある(精神派)。反面これとは逆に、大中小直径、乳白色で内部模様(表情)がある半透明なものが真のオーブであり、模様の無い小直径の強い発光体は水滴(反射光)である、という主張もある(実験派)。これらの見解は潜在しており、いまは、特に議論されてはいない様子であるが、研究を進める時の(対立を呼ぶ)問題点になっている。本稿では、これを総合的に解釈するため、ならびに、オーブの存在理由や円内模様と水滴との関係を検討する為のモデル(仮定)を提案し、考察を進めることにした。

### 1) オーブの形成過程の推定

地球の表面付近に存在する大気(空気)成分は、容積比で、窒素分子(約78%)と酸素分子(約21%)が大部分を占めており、水蒸気(H<sub>2</sub>O)は僅かに0.0~3.0%、その他として二酸化炭素

とオゾン等がある。中でも水蒸気は、季節や地形による変動がかなり大きいと聞く。大気中の水蒸気が多くなると、凝固して雲や雨になるが、凝固には核が必要であり、これをエアゾール(埃、微細塵)が分担している。注意すべきこととして、水分が少なくなると、オーブは極めて出現しにくくなる。

地球を取り巻く空気の一部は、宇宙線の照射のために電離していて、上層部は陽(+)、地表部は陰(-)に帯電している。したがって、地球は電磁気的には巨大な球形・地球コンデンサー(約30万V)として存在している。通常は、地表は陰に帯電しているが、厚い雨雲がやってくると、雨雲自体の上側は陽(+),下側は陰(-)に帯電している。この時、空気中の陰イオン群と陽イオン(荷電粒子)群間に対流が生じ、両者が交流して、大気陰・陽イオン群が形成され易くなる。雨が降り始めると、電離はさらに進む。

水(H<sub>2</sub>O)を電離するとH(陽イオン)、OH(陰イオン)、電子(-)になる。いわゆるプラズマであるが、これを大気電気学では、大気陽イオン、大気陰イオン、電子と呼ぶ。大気イオン群の中にエアゾール(埃、微細塵)を入れると、大気電界やイオン間の相互作用などにより、大気陽イオン・ボールと大気陰イオン・ボールの組合せができる。いま、ベクトルが上向きで右方向回転の